

製品安全データシート

〒612-8369京都市伏見区下鳥羽但馬町29-1
(有) 京都化研
TEL 075-622-3276
FAX 075-622-3806

作成 2007年5月24日

MSDS

製品名 コリテックスV

1. 物質の特定

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| ・ 単一製品、混合物の区別 | 単一製品 |
| ・ 化学名 | ブロモクロロ-5,5-ジメチルヒダントイン |
| ・ 別名 | |
| ・ 成分及び含有量 | ブロモクロロ-5,5-ジメチルヒダントイン 96%以上 |
| ・ 化学式または構造式 | $C_5H_6BrClN_2O_2$ |
| ・ 官報公示整理番号 | 5-6327 |
| ・ CAS No. | 32718-18-6 |
| ・ 化学物質分類 | ハロゲン化ヒダントイン |
| ・ 分子量 | 241.5 |
| ・ 製品の種類と用途 | 水泳プール・ジャグジー、工業用殺菌消毒剤 |
| ・ 国連分類および国連番号 | 1479 クラス5.1 (Oxidizing Substances) |

2. 組成・成分情報

- | | |
|------|--|
| ・ 成分 | ブロモクロロ-5,5-ジメチルヒダントイン [32718-18-6] 96%以上 |
|------|--|

3. 危害有害性の分類

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| ・ 分類の名称 | 酸化性物質 |
| ・ 人体への悪影響 | 火傷を起こす。
コリテックスVは皮膚感作をおこすことがある。 |

4. 応急措置

- | | |
|------------|---|
| ・ 眼に入った場合 | まぶたを開いて持ち、直ちに清流水で20分以上洗浄する。
直ちに医師の診断を受ける。 |
| ・ 皮膚に触れた場合 | 汚れた衣服は脱がせる。中性石鹼と大量の水で20分以上よく洗う。作業衣は再使用の前に洗う。直ちに医師の診断を受ける。 |

- ・吸入した場合
 粉塵吸入の場合や加熱した本品から出た煙霧を吸った場合は、新鮮な空気の静かな暖かい場所に移す。
 必要に応じて人工呼吸を行い、直ちに医師の診断を受ける。
- ・飲み込んだ場合
 飲み込んだ場合には、大量の水で口をよくすすぎ、飲料水を与える。直ちに医師の診断を受ける。

 注意：意識のない場合は何も飲ませないこと。

5. 火災時の措置

- ・引火点
なし
- ・燃焼・爆発限界
不燃性
- ・発火点
データなし
- ・消火剤
粉末、二酸化炭素、または水スプレー
- ・消火手順
容器を水スプレーで冷却する。
倉庫では、消防士は正圧式空気ボンベ式ガスマスクを着用する。
- ・消火活動装備
防護衣と循環式酸素呼吸器
- ・異常火と爆発の危険
酸化剤
分解するまで加熱すると、HBr、NO_x、HCl等の有毒腐食性ガスを発生することがある。
強酸化剤、可燃性物質、有機物質、他の酸化しやすい物質と爆発性混合物を形成する。

6. 漏出時の措置

- ・人に関する注意
現場から避難する。
防塵マスク、ゴム手袋、化学薬品用安全ゴーグルを使用する。
- ・漏出後の措置
掃き集め、適切な容器に入れて保管し廃棄処分する。
粉塵をたてないように注意する。
回収完了後は、現場を換気し、漏出現場を洗う。
河川・湖沼に流入しないようにすること。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- ・取り扱い
容器は密閉する。
適切な保護具・保護衣を着用すること。

・保管

熱源・発火源のそばに置かないこと。
本品の貯蔵温度は20℃以上にすること。
本品の貯蔵温度は30℃以下にすること。
高温多湿を避け、通気の良い場所に貯蔵する。

有機物及び水分との接触を避けて保管すること。
混触危険性物質（「回避すべき物質」を参照）のそばに置かない。

8. 暴露防止対策

許容濃度

- ・ TLV-TWA

0.1mg/m³（弊社推奨値）

換気条件

必要なら、特に粉塵の出る条件ではスポット排気を行う。

保護具

- ・呼吸防護
- ・手袋
- ・眼の保護具
- ・その他

承認されたガスマスク
PVC製手袋
化学物質安全ゴーグル
全身を衣服と長靴で覆う

職場の設備

安全シャワーと洗眼設備が必要である。作業後シャワーを浴び着替えるまでは飲食・喫煙をしないこと。

9. 物理／化学的性質

- ・外観 ハロゲン臭のする白色～乳白色の錠剤・顆粒・粉体
- ・融点等 データなし
- ・沸点等 データなし
- ・蒸気圧 9.35 x 10⁻³ Pa (25℃)
- ・相対蒸気密度（空気=1） 通常条件下では該当せず
- ・蒸発速度（エーテル=1） 通常条件下では該当せず
- ・溶解度
 - ・水 0.22g/ 100ml (25℃)
 - ・ベンゼン 2.5g/ 100g (25℃)
- ・比重 1.8- 2.0
- ・熱分解 >160℃
- ・n-オクタノール/水分配係数 Kow = <1 (pH 5-9)

10. 危険性情報（安全性、反応性）

- ・安定性 通常条件下では安定
- ・回避すべき物質
 - 酸化剤
 - 可燃性有機物質
 - 塩基性類

・回避すべき条件	160°Cを超える高温の加熱
・有害分解生成物	CO, HBr, Cl ₂ , NO _x , HCl, CO ₂
・有害な重合反応	起こらない

11. 有害性情報

・急性毒性	
・LD ₅₀ (ラット経口)	929mg/kg
・LC ₅₀ (ラット吸入)	1.1mg/ l/ 4時間
・皮膚刺激 (ウサギ)	腐食性物質
・皮膚感作 (モルモット)	感作物質
・過剰暴露作用	
・眼	重度刺激性 一時的・永久的に眼を損傷することがある。
・皮膚	濡れた皮膚に付着すると重度の刺激を起こすことがある。
・吸入	上気道刺激性 息切れ、頭痛、吐き気
・感作	長時間皮膚に付着すると感作を起こすことがある。
・慢性毒性	該当せず
・変異原性	エイムス試験で変異原性確認 ネズミにおいてのリンパ腫L5178Y試験は変異原生あり、 ネズミの小核試験において生殖毒性なし 不定期DNA合成試験(in-vivo liver)において生殖毒性なし
・発癌性	発癌性物質として分類されていない NTP 11 th Annual Report on Carcinogens (発癌物質に関する NTP報告書第11報)に記載なし IARCによる分類なし

12. 環境影響情報

以下の環境毒性データは、有効成分について実施された試験結果である。

・水生生物毒性	
・LC ₅₀ (96時間) (魚類)	0.4mg/l (ニジマス、静止) 0.46mg/l (ブルーギル・サンフィッシュ、静止) 1.6mg/l (シープスヘッド・ミノウ、急流) 1.2mg/l (カキ、急流) 1.9mg/l (アミ、急流)
・LC ₅₀ (48時間) (ミジンコ)	0.75mg/l (静止)
鳥類毒性	
・LD ₅₀ (急性経口、 コリンウズラ)	1839mg/ kg
・LC ₅₀ (食餌、マガモ)	>5620ppm
・LC ₅₀ (食餌、	>5620ppm

コリンウズラ)	
・Bioaccumulative Potential	Kow値が低いことから、1未満である。 当該物質は水中生物への顕著な蓄積性を予測しておりません。土壌中または沈殿物中の有機物に吸収されると考えられております。
・ Germany, water endangering classes(WGK)	2

13. 廃棄上の注意

- ・ 廃棄物処理

適切な保護衣、保護具を着用の上取り扱うこと。
排水溝には絶対に流さないこと。
河川、湖沼や水路などへの拡散を防止すること。
承認された埋め立て処分場または承認された焼却場で処分する。
もしくは産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。

本品を処分する場合には連邦、自国及び地域の法規に則った上で取り扱うこと。地方条例があればそれに則って処理すること。
- ・ 容器の処理

空容器は破砕し許可を受けた場所に埋めること。
もしくは産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。

14. 輸送上の注意

- ・ UN番号 3085
- ・ IMO-IMDG CODE

輸送のための正しい表示: Oxidizing solid, n.o.s
(Bromo,Chloro-5,5-Dimethylhydantoin)
Class: 5.1- Oxidizing substances
Label: OXIDIZING AGENT (5.1) and CORROSIVE
Marking: MARINE POLLUTANT
Packing Group: II
- ・ ICAO/IATA

輸送のための正しい表示: Oxidizing solid, n.o.s
(Bromo,Chloro-5,5-Dimethylhydantoin)
Class: 5.1 Subsidiary Risk: 8
Hazard label(s): Oxidizer & Corrosive
Packing Group: II
- ・ US DOT

輸送のための正しい表示 : Oxidizing solid, n.o.s
(Bromo,Chloro-5,5-Dimethylhydantoin)
Class: 5.1- Oxidizing substances
Label: OXIDIZER (5.1); CORROSIVE
Packing group: II
Marking: MARINE POLLUTANT

15 適用法令

- ・ EEC
 - ・ 分類 EINECSに記載 (No.251-171-5)
Corrosive (腐食性) (C) およびOxidizer (酸化剤) (O)の記号が必要
 - ・ リスク警句 R8 : 可燃性物質と接触すると火災を起こすことがある。
R31 : 酸と接触すると毒性ガスを発生する。
R34 : 熱傷を起こす
R22 : 飲み込むと有害
R 43 : 皮膚に付着すると感作を起こすことがある。
 - ・ 安全警句 S26 : 眼に入った場合は、直ちに大量の水ですすぎ、医師の診断を受ける。
S28 : 皮膚についた場合は、直ちに大量の水と石鹼で洗う。
S45 : 事故あるいは気分が悪くなった場合には、直ちに医師の診断を受ける (可能ならラベルを見せる)。
S36/37/39 : 適切な保護衣、手袋、眼/顔面保護具を着用する。
 - ・ 米国 本品はFIFRA (連邦殺虫剤・殺菌剤・殺鼠剤法) に従い登録されています。
TSCA:EPA No.P-94-34
いかなる用途であってもSNUR(Significant New Use Rule)に報告すること。60FR11037
CERCLAに記載されておられません。
 - ・ 日本 既存化学物質番号 (ENCS No.5-6368) に記載
化学物質管理促進法 (PRTR法) 該当せず
労働安全衛生法該当せず
 - ・ 中国 記載済み
 - ・ フィリピン PICCSに記載済み
-